

F S Gカレッジリーグ学生・教職員に対するPCR 検査結果について



ターゲット 3.3

令和2年11月12日

郡山市保健福祉部

保健所地域保健課

担当：佐久間 敦雄

TEL：924-2163

SDGs ターゲット 3.3 「伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する」

11月5日に本市において記者会見を行いました、学校法人国際総合学園「F S Gカレッジリーグ」の学生及び教職員のPCR検査結果についてお知らせします。

<経過>

11月1日、F S Gカレッジリーグ（以下、「F S G」）で学ぶ外国人留学生在が、PCR検査の結果新型コロナウイルス陽性と確認。その後、濃厚接触者である同居人や同じ学校に通う留学生、教職員や日本人学生に感染者が確認されたことから、感染拡大を防止するため、F S Gの学生・教職員2,085名のうち、感染可能期間に登校していなかった16名を除く2,069名に対しPCR検査を実施した。

<PCR検査結果>

- ・検査実施日 11月3日から11月11日まで
- ・検査対象者 2,069名
- ・検査実施数 2,068名

※1名については、唾液検体を採取できなかったことから、健康観察中

実施内訳		検査数	陽 性	陰 性
積極的疫学調査		161	17	144
集団検査	郡山市保健所実施	1,857	1	1,856
	郡山市外県内保健所実施	50	0	50
合 計		2,068	18	2,050

※集団検査以後に症状が現れ検査し陽性となった方は検査結果には含まれない。

<市民のみなさまへお願い>

全国的に新型コロナウイルスの感染者が急増しております。感染拡大を防止するため、「新型コロナウイルス感染症の“いま”」についての『10の知識』をよくご確認くださいとともに、感染リスクが高まる「5つの場面」を避ける対策をお願いします。

<感染リスクが高まる「5つの場面」を避けましょう。>

1. 飲酒を伴う懇親会等
2. 大人数や長時間におよび飲食
3. マスクなしでの会話
4. 狭い空間での共同生活
5. 居場所の切り替わり

<新型コロナウイルス感染症の“いま”についての「10の知識」>

1. 国内で約 96,000 人が感染と診断、年代別では 20 代が最多（10 月 27 日時点）
2. 6 月以降に診断された人のうち、重症化したのは 50 代以下で 0.3%、60 代以上で 8.5%
死亡はそれぞれ 0.06%と 5.7%
3. 重症化しやすいのは高齢者と基礎疾患のある人
4. 日本は人口当たりの感染者数や死者数は主要国と比べて低い水準
5. 他の人に感染させる期間は、発症 2 日前から発症後 7~10 日間程度
6. 他の人に感染させる人は 2 割以下。3 密環境で感染を広げなければ流行を抑えられる
7. 3 密環境で感染リスク高い飲食を伴う懇親会など 5 場面で注意
8. 現在の感染は PCR 検査と抗原検査、感染歴は抗体検査で
9. 軽症は経過観察、呼吸不全を伴うと酸素投与やステロイド薬、抗ウイルス薬を投与。改善しなければ人工呼吸器の使用も
10. ワクチンは開発途上。発症や重症化を予防できるか、現時点で不明。副作用はまれだが不可避免的に発生する

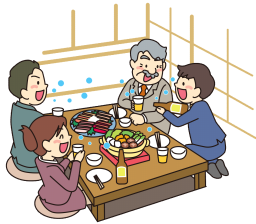
※ 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(2020年10月28日)資料より抜粋

感染リスクが高まる「5つの場面」

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会では、以下のような感染リスクを高めやすい具体的な場面が示されています。
(令和2年10月23日(金)新型コロナウイルス感染症対策分科会)

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

- ① 少人数・短時間で、
- ② なるべく普段一緒にいる人と、
- ③ 深酒・はしご酒などはひかえ、
適度な酒量で。
- ④ 箸やコップは使い回さず、
一人ひとりで。
- ⑤ 座の配置は斜め向かいに。
- ⑥ 体調が悪い人は参加しない。
- ⑦ マスクできない飲食中は会話を控える。
- ⑧ ステッカーを掲示するなど感染対策が
しっかりしている店舗を利用する。

感染防止対策取組ステッカー



家庭内の場面では

- ① 必要に応じてマスク着用
- ② こまめに手指消毒
- ③ 定期的に換気する



- ④ 症状があったら外出せず、**かかりつけ医**や
受診・相談センターへ連絡

受診・相談センター
0120-567-747

<事業者の皆さまへ>

- ① 各業界団体のガイドラインの徹底を！
- ② 「新型コロナウイルス 感染防止対策取組ステッカー」や「新しい生活様式実践ポスター」、「接触確認アプリ」を積極的に活用しましょう。



新型コロナウイルス接触確認アプリ
COCOA Google Play App Store
(アンドロイド版) (iPhone版)

